

# 学校だより 第28号

心豊かで 確かな学力をもち 心身ともに健やかな子どもの育成  
令和8年3月9日 津市立榊原小学校



体育館前のサザンカが満開です

日増しに暖かくなり、春の訪れを感じる今日この頃です。それぞれの学年で、ふり返りやまとめや次年度へのつなぎを行い、複式学級の今のメンバーで過ごせる日を大切に過ごしています。

## 6年生を送る会

2月20日(金)



この日に至るまで、5年生が中心となって、4年生の力も借りながら準備をしてきました。6年生に渡す花の鉢を昼間は日を当てるために暖かいところに出したり、下校前には霜と鹿対策で児童玄関にしまったり、メッセージを他の学年の子に書いてもらうように頼んだりまとめたりしていました。



当日は、紅組・白組対抗でドッジボールや6年生にまつわる〇×クイズで楽しんだり、メッセージの寄せ書きや花の鉢植えをプレゼントしたりしました。6年生からも、「特別教室用のカギにつけられるように」とフェルトで作ったマスコット、廃材を利用したトイレトパーケース、お花のようにかわいくまとめた(掃除用・机拭き用)雑巾、長くつながれた千羽鶴等をプレゼントされ、5年生が代表で受け取りました。最後に、みんなで花道を作り、拍手で送り出しました。3月19日の卒業式まで6年生と一緒に過ごせるのも、あと少しです。一日一日を思い出いっぱいにして過ごしてほしいと思います。

## 榊原幼稚園 年長さんと交流

2月24日(火)・25日(水) 1・2年生

年長さん5人が1・2年生と交流し、小学校生活の体験をしました。まずは体育館でふわふわボールのドッジボール。投げにくそうにしている年長さんにコツを教えたり、とったボールを「投げていいよ」と譲ったりする姿がありました。教室では、子どもたちが描いた果物のカードを使った「フルーツバスケット」、ボールをどんどんとなりに送る「爆弾ゲーム」をして楽しみました。年長さんが受け取りやすいよう気遣う優しさも見られました。



給食の準備では、配膳の仕方を寄り添って教えたり、「全部 食べられる？」と心配して声をかけたりしていました。年長



今から フルーツバスケットをします。やり方は…



曲が止まったら、ボールが爆発！(声だけみんなで)「どっかーん！」



どこの小学校に行くの？

さんも1・2年生の話をよく聞いて、「静かに待ちます」等のお約束をしっかり守られていました。1日目は ご飯(ビビン

バ・豆腐スープ)、2日目はパン(うどん・揚げパン・キャベツの甘酢漬け)のメニューでしたが、どちらも「おいしかった!」とみんなが笑顔になっていました。年長さんだけでなく、1・2年生にとっても貴重な体験でした。

## 英語交流

2月26日(木)

2学期に続けて、明小学校の6年生とオンラインで交流をしました。今回も、ALTのジョーダン先生が来校され、子どもたちとも「久しぶり!」といった感じですぐに打ち解けた様子でした。「中学校ではどんなクラブに入りたいのか」と聞き合ったり「将来は〇〇になりたい」と夢を伝えたりしました。少人数同士の学校で、初めての人と話す・自分から一歩踏み出して行動してみるという経験はとても貴重です。学んだ英語を使って伝わる喜びや他校の同学年の友だちと会話をする楽しさも感じていました。6年生にとって、新しく始まる中学校生活に向けての大きなステップになったことでしょう。



## 卒業式会場準備

2月27日(金)

3~5年の子どもたちと卒業式に向けて会場準備をしました。重たいシートも力を合わせて持ち、工夫して声をかけあって敷きました。3月19日(木)の当日に向け、少しずつ呼びかけや座り方、歌の練習等が始まっています。6年生のために、素敵な卒業式になるよう、みんなで頑張っています。



## 地区学習会 卒講式

6年生 3月4日(水)



下村教育集会所に移動し、地区学習会の卒講式を行いました。人権文化クリエイターの中西 孝夫先生や人権指導員の前田 なをみ先生から、現代や身近に残る差別の問題やご自身の体験から向き合っ  
て考えてみえたこと等をていねいにお話し  
いただきました。

子どもたちからは最後に、今まで学んできた人権に関わる問題について、一人ひとり感じていることや考えていること等を話しました。一人ひとりの言葉から、「差別の問題についてまだまだ知らないことがあるから、これからはしっかり学んでいきたい」「『これが差別だ』とわからなければ気づかずに差別をしてしまうかもしれない。だから正しく理解して学びたい。」「一人で差別をなくそうと立ち向かうのは難しいから 仲間をつくって一緒に行動していきたい」「友だちを「何でも聞ける・話せる仲間」としてもっとつながっていきたい」等と語り、「差別は絶対になくしていく!」「この仲間がいっしょにいれば、差別をしない自分でいられる!」という思いを強く持っていました。



困ったときや不安になったときには、榊原で育ち、学んできたことを自信に持ち、榊原の仲間がいる場所にいつでも戻ってこられたらいいなと思います。



榊原小学校の  
ホームページ  
(二次元コード)

